



家庭学習、充実していますか？

先日、3教科（国・英・数）の授業や家庭学習のポイントを紹介しましたが、今号では、理科・社会科です。この号をきっかけに、自分の勉強を見つめ直してみてください。

理科

理科は暗記科目だから直前で覚えれば良いと思っている人はいませんか？たしかに覚えることは大切ですが、実際の問題は文章を読み、その中での思考力が問われます。また、化学・物理・生物・地学と広い範囲からまんべんなく出題されます。「直前の学習で何とかなる」というのは大間違いです。まずは、1年生から3年生までの重要語句を確実に覚えることが大切です。また、教科書の実験は出題されます。実験の内容についても復習し、その時の計算方法も復習してほしいです。

理科の良いところは、分野で分かれているので、得意な分野と苦手な分野で分けて学習ができることです。得意な分野は難易度を上げて、苦手な分野は基本を中心に学習していくとよいと思います。

<学習の進め方>

- ① 基本中心の問題集 or 1年生から3年生で使ったワークの問題を解き、基本語句を覚える。
 - ・分からないときは教科書等で調べる。調べてもわからないときは答えを見てポイントをまとめる。
 - ・覚えるまで何度も繰り返し問題を解く。※学習に行き詰ったときは教科書の実験図や図表を丸写しするのも効果あり。器具や部品の名前も書き込むようにしよう。例えば、書きにくいところでは夏と冬と梅雨の天気図も自分で書いてみると良い。高気圧や前線の位置関係を覚えるのに効果あり。
- ② 教科書の実験や観察を復習し問題を解く。グラフの読み取りや計算も何度も繰り返し解く。
 - ・理科は計算力が問われる。必要な数値が求められるかどうか、公式を確認して問題を解いてみよう。
 - ・グラフの読み取りも理科では大切な力です。縦軸、横軸が何を意味しているのか、どんな関係があるのかを考えられるようにしよう。※小数や分数の計算に不安がある人は、計算ドリルを用意して復習することも大切です。
- ③ 基本が復習できたら、実戦形式の問題を解くようにしよう。
 - ・理科でも、文章を読み解く力が必要。実験操作の文章を読んでから設問に答えるというパターンを知ることが大切です。

<絶対に解きたい問題>

全部！！

理科は特定の問題が出題されるのではなく、いろいろな分野がまんべんなく問題が出題されます。ワークの章末問題は必須です。

社会科

- ・年度初めに配付した「社会科の評価について～成績はこうやって決まる！」を何度も見直してください。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」では、①授業での頑張りをアピールする ②周りの人と作業を協力する ③時事問題の理解を深めるよう努める（ニュースを見る、新聞を読む、昇降口時事号外新聞をチェックする）ことに加え、④単元の見通しを立てる ⑤単元終了後、学習の振り返りや学習課題に対するまとめを行う ことが必須です。

※ノート未完成やプリント不足があると大減点です。ノート(授業プリント)未提出は、Cとなるので注意!

- ・「思考・判断・表現」は、①事象について説明できる ②自分の考え、意見を持つ ③文章で分かりやすくまとめたり、簡潔に伝えることができる訓練をしましょう。
- ・「知識・技能」のうち「技能」は、①グラフ、写真、資料(史料)、地図などの読み取りと作図 ②地図帳や資料集の活用、プリント資料の整理が必須です。
- ・「知識・理解」のうち「知識」は、定期テストや小テスト・確認テスト等で点数をとることが必須です。

<学習の進め方>

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、授業で当たり前のことをしっかりやり、楽しく授業に参加することが大前提です。積極的に発言し、意見交換に主体的であってください。また、継続的な復習や予習をノート等にやっている人は加対象となります。また、粘り強い学習活動を行う中で、自分の学習を調整し、向上を目指すよう、学習計画や学習内容を適時改善することも必要です。
- ・「思考・判断・表現」は、上の①～③ともワークの説明問題を繰り返し解いて理解することが大切です。ニュースについて「自分なりの意見」を持ち、その根拠を家族や友人に説明するなど日頃から訓練しましょう。
- ・「知識・技能」のうち「技能」は、①授業で扱った資料の着目ポイントをノートにメモし、復習する ②地図帳や資料集を日ごろから見て親しむ ③もらったプリントはすぐ貼る（なくさない）ことを心掛けましょう。
- ・「知識・技能」のうち「知識」は、小テスト（「京都奈良テスト」「憲法条文テスト」「三権分立テスト」等）の勉強を努力し、毎回確実に満点(合格)することが大切です。本年度は、定期テスト前にワークとほぼ同じ問題を出題する「確認テスト」を毎回実施します。これらのテストは、すべて定期テストと合算して評価します。また、毎日のノートの復習をしたり、自分のことばで端的にまとめ直す勉強を継続的に行うことも効果的です。また、ワークやこれまでの定期テストの解き直しを繰り返すことも大事です。まず始めに1・2年の地理ワークや歴史ワークを解き直し、理解しているかどうか確認してみましょう。

<絶対に解きたい問題>

- 【地理】雨温図・地形図・統計グラフなど「資料の読み取り」に慣れましょう。資料のポイントを読み取れると問題は解けたも同然。反復練習に努めましょう。
 - 【歴史】起こった出来事を年代別に整理し、事象の流れを押さえていきましょう。「誰が・いつ・何をし・その後時代はどう変わったか」を常に意識し、説明できるようにしましょう。また、日本と世界と比較できることも大事です。（市民革命の頃、日本ではどんなことが起こっていたか等）
 - 【公民】身近な生活とのかかわりに関心を持ち、現在の仕組みを知ること、現状をどう改善することが必要か考えてみるのが大切です。日頃からニュースに親しんでください。
- ※ 昇降口前の「号外新聞コーナー」は要チェックです！！)

77期生全員が、卒業式までに無事に進路決定できますことを切に願っています。Fight! 77期生!